

25A06

植物動物観察入門・春夏（前期）

関連する SDGs :



申込フォーム

スマートフォンからも
お申込みできます

期 間 : 2025 年 5/30 (金) ~ 7/25 (金) [全 5 回]

期 所 : 尚綱学院大学 カモシカルーム

〒981-1295 名取市ゆりが丘 4-10-1

時 間 : 13:30~15:00

定 員 : 15 名

最少催行人数 : 8 名

受 講 料 : 6,500 円

対 象 者 : 子ども時代のように、自然の中で事象を発見・分析しつつ学びたい方へ

教 材 : 各回講義で資料を配布いたします

修了要件 : 80%以上出席した方に修了証を発行予定

受講生へのメッセージ

★☆☆（レベル1：初級）

なぜシロツメクサの葉は揃って3枚なのか？図書やネット検索で答は見つかりません。子どもたちがするように、四つ葉を捜したり、冠を編んだり、遊んでいる内に答えは見つかります。自然は秘密を聞いても教えてくれません。打ち解けて気持ちが一つになった時、自然は語ってくれます。野外で、あるいは実験室で、観察しながら謎を解明してゆきます。野外散策可能な服装でご参加ください。

日程	テーマ・内容	講 師
第 1 回 5/30	動植物の観察方法 理科の授業を思い出して、肉眼で、またルーペや顕微鏡を用いて、身近な植物や昆虫を観察してみます。	山崎 裕 尚綱学院大学 客員研究員 
第 2 回 6/13	多様性の生物学よもやま話 1 路傍を見渡すと、多くの草花が目に入ります。その殆どが外来種です。里山に一足踏み込むとそこは在来種の世界です。彼らの身の上話を聞きます。〔キャンパス内散策：雨天変更〕	
第 3 回 6/27	草藪の教育力 草藪は「いのち」に溢れています。そこで子どもたちは大人が 想定する以上のことを学んでいます。	
第 4 回 7/11	多様性の生物学よもやま話 2 里山内では、動植物が数百年間変わらずに相互関係を維持しながら、ヒトとも関わりを持ちつつ暮らしています。その様子を覗いてみましょう。〔「尚綱の森」散策：雨天変更〕	
第 5 回 7/25	高館千貫山の自然・春夏 「尚綱の森」を入り口として、名取市に棲息生育する動植物の春夏の物語について、スライド写真を見ながらお話ししたいと思います。	